

令和6年度の重点課題

○運動や体を動かすことが好きな児童の割合をできるだけ高くする。

○走力、とりわけ短距離走の実現状況をあげていく。

○柔軟性を高めていく。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○体育朝会を活用し、体を動かす楽しさを感じながら、バランスよく体力を高めていく。

○外部講師を招聘し、短距離走の指導を受ける。あわせて股関節等の柔軟性を高めるためのストレッチについて学ぶ。

○外部講師考案の「東野ストレッチ」を体育の授業開始時に全学年で行う。

○始業前、大休憩時の外遊びの推奨。

○なわとび検定、一輪車検定の実施。

○新体力テスト結果をはじめ、学校で行う体育的行事の記録を個人ファイルとして作成し、毎年、自分にとって適切な目標を設定し、その達成に向けて努力させる。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.83	24.33	33.17	48.50	67.83	9.55	146.00	26.50	58.67	第5学年	15.50	17.50	37.50	39.50	37.00	10.96	118.50	10.50	49.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシヤトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	18.83	24.33	33.17	48.50	67.83	9.55	146.00	26.50	58.67	第5学年	15.50	17.50	37.50	39.50	37.00	10.96	118.50	10.50	49.00

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	83.00	17.00	0.00	0.00	第5学年	0.00	50.00	50.00	0.00

学校独自の意識調査

体育や遊び、社会体育等で体を動かすことが好きな児童が多い。一輪車ノリや持久走、縄跳び等、体育的行事に向けて、一生懸命に頑張る児童も多い。しかしながら、柔軟性や走力等の項目において課題が継続している実態がある。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 東野ストレッチを継続して行う。
- 外部講師を招聘し、専門的な見地から指導を受ける。
- 個々の児童に合った「場」の設定をする。
- 各運動のポイントを明確にし、それを児童相互で確認しあいながら達成をめざす。そのためにICT

体育の授業以外で行う取組内容

- サッカー、テニス、野球、バドミントン、一輪車等、児童がやりたいと思った運動がいつでもできるように環境を整える。休憩時の外遊び推奨。
- 一輪車検定、縄跳び検定等の継続実施。
- 体育朝会の内容の工夫。(楽しみながら様々な動きができるように)

重点課題

情意面での課題

○全体として運動やスポーツをすることが好きな児童は多いが、「あまり好きではない」「好きではない」という児童が固定化されている。

体力面での課題

- 走に関する運動が継続的な課題になっている。
- 柔軟性を高める必要がある。

令和8年度の重点目標値

- 「運動やスポーツをすることが好き」の項目について全児童が肯定的な評価をするようにする。
- 「50m走」「長座体前屈」の実現状況が県平均値を上回る児童がR7年度よりも増えるようにする。